

## 他団体との合同防災訓練に参加しました！

### ○日本水道協会関東地方支部（南関東ブロック）合同防災訓練

この訓練は、日本水道協会関東地方支部において締結している災害時相互応援協定に基づいて、応援要請、参集などの訓練を実施し、各手順の確認を行うことで事業体間の連携を図り、協定の実効性を確保することを目的として昨年度から行われています。当企業団は、今回の訓練の中で1月17日（火）に行われた応援隊受入訓練、合同訓練開会式、応援活動審議訓練に参加しました。

当日は世田谷区玉川田園調布にある東京都水道局の研修・開発センターを会場として行われ、到着後に受入訓練として応援隊の動線の説明や、施設、設備、備蓄品などの説明を受けました。研修センターということもあり、会議室はもちろんシャワーなどもあり、受入れ施設として十分な機能がありました。

その後、開会式、応援活動審議訓練と実施され、応援活動審議訓練では応急給水作業の指示が、本部、支部、応援隊と段階を経て伝達され、参加団体はそれぞれの役割を確認しながら訓練を行っていました。



整理された備蓄品



審議訓練の様子

### ○災害時における相互応援に関する協定に基づく合同訓練

大規模な災害が発生した場合、単独の事業体では十分な対応を取ることが難しく、近隣の事業体も同様に被災してしまうことから、遠隔地の事業者である阪神水道企業団、大阪広域水道企業団、埼玉県企業局と応援協定を締結し、毎年合同で応急給水訓練を実施しています。

今回は埼玉県企業局が被災し、大阪広域水道企業団が応援を行うという想定で、1月17日（火）から1月20日（金）の4日間、通信、移動、応急給水

の各訓練と施設調査が行われ、当企業団は18日に阪神水道企業団と応援要請の通信訓練を行い、19日に埼玉県企業局において行われた応急給水訓練にオブザーバーとして参加しました。

18日の応援要請通信訓練は、当企業団が被災し、阪神水道企業団に応援の要請を行う想定で行い、被害状況などから応急給水を行う際に不足する人員や給水袋について検討した後に応援要請を行い、阪神水道企業団から応援可能である旨の回答を受けました。



応援要請通信訓練の様子

19日は埼玉県企業局の大久保浄水場に4事業者が集合し、上赤坂中継ポンプ所において、埼玉県企業局の受水団体である狭山市の給水車への給水訓練を行った後、再び大久保浄水場に戻り住民への応急給水訓練を行いました。

2か所とも浄水池からの自然流下による給水が可能で、ポンプを必要としない仕組みになっており、作業手順も少なく効率的に給水していました。



応急給水訓練の様子

大規模な災害に備え、いざというときに円滑な作業ができるように、当企業団では今後も他事業者と連携して訓練を継続してまいります。